

【配布資料①】

平成 26 年 6 月 13 日  
ITC 東京コンソーシアム

平成 25 年度研修プロジェクト活動報告書

1. 実施内容

No.	日時	場所	テーマ & 講師	参加者数
1	2013 年 5 月 23 日(木) 18:30～21:30 3 時間	日本コンサルタ ントグループ 第 2 ニッコンビル 2 階	<p>■テーマ:『中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業』と「外務省・JICA 支援事業の中小企業活用策について」</p> <p>■ 講師 NPO 東京ITコーディネータ副理事長 小野瀬 氏 (IT コーディネータ、中小企業診断士)</p>	17 名
2	2013 年 6 月 14 日(金) 18:00～21:00 3 時間	日本コンサルタ ントグループ 第 2 ニッコンビル 2 階	<p>■ テーマ:『組織目標達成とIT 導入の整合性を取るために』</p> <p>■ 講師:平林大典 氏、野村典文 氏、井出昌浩 氏 独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)</p>	20 名
3	2013 年 11 月 27 日(水) 18:00～21:00 3 時間	日本コンサルタ ントグループ 第 2 ニッコンビル 2 階	<p>■ テーマ:『ITC による中小企業支援のための「ビジネス競争力強化支援ツール」』</p> <p>■ 講師 NPO 東京ITコーディネータ理事長 岡 現 氏 (IT コーディネータ、中小企業診断士)</p>	20 名
4	2013 年 12 月 6 日(金) 18:00～21:00 3 時間	日本コンサルタ ントグループ 第 2 ニッコンビル 2 階	<p>■ テーマ:『情報化の進展と社会の変化』</p> <p>■ 講師:城西国際大学 広報部長 久保田 正道 氏</p>	19 名
5	2014 年 2 月 14 日(金) 18:15～21:15 3 時間	武蔵野商工会館 ゼロワンホール 4F	<p>武蔵野商工会議所&amp;ITC 東京コンソーシアム共催</p> <p>■ テーマ:『ITツールを活用した業務改善とその事例』</p> <p>■ (株)ピースステージ 代表取締役社長 佐伯 光昭</p>	17 名
6	2014 年 2 月 28 日(金) 18:15～21:15	武蔵野商工会館 ゼロワンホール 4F	<p>武蔵野商工会議所&amp;ITC 東京コンソーシアム共催</p> <p>■ テーマ:『電子マネー決済の”今”と”今後”』</p> <p>■ 講師:株式会社 エム・ピー・ソリューション 取締役 林 和弘 氏</p>	19 名
7	2014 年 3 月 14 日(金) 18:15～21:15	武蔵野商工会館 ゼロワンホール 4F	<p>武蔵野商工会議所&amp;ITC 東京コンソーシアム共催</p> <p>■ テーマ:『日本が目指すイノベーションと事業創造ができる人財育成の方向性！』</p> <p>■ 講師高梨 智弘 氏(新潟大学大学院特任教授、T&amp;T パートナース会長)</p>	22 名
			参加者数	134 名

## 2. マルチポイント

- 知識ポイント換算で合計 10.50 ポイント分を実施した。

年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
開催数	7	8	7	8	7	6	7	7	7
ポイント	4.8125	6.25	5.25	6.00	5.25	4.50	5.25	5.25	10.5
参加数	183	217	168	214	231	152	168	158	134
平均参加数	26.1	27.1	24.0	26.8	33.0	25.3	24.0	22.6	19.1
会員数	43	39	40	38	37	36	32	33	31

- IT コーディネータ後援セミナー：7 回、18 時間、10.50 ポイント（上限なし）

平成 25 年度は、IT コーディネート協会の知識ポイント緩和政策により 7 回の開催において 10.5 ポイントのポイントを得ることができた。

- ITC の届出組織が主催する、公開を前提として組織長が承認した研修・セミナーを 2 時間 1 ポイントに換算をアップし、上限を撤廃

また、各会場の平均受講者数が 19.1 人と会が始まってはじめて 20 人を割り込んだ。原因としては、ITCA のポイント緩和施策によりポイントを取り易くなり、非会員の参加が少なくなったこと。会員数も僅かながら減少していることなどが上げられる。

平成 25 年度は、講師料を抑えたことにより残高は若干ながら減少はしたものの、収入と支出のバランスはとれ安定的な予算運営を行うことができた。26 年度も同様の活動を実施することにより研修活動の安定的な運営は可能となるといえる。

以上